

# UV硬化樹脂設計の基礎と硬化不良対策 【大阪講座】

**日時** 2016年9月6日(火) 10:30～16:30

**主催** (株)R&D支援センター

**会場** ドーンセンター 4F 中会議室3 大阪市中央区大手前1丁目3番49号

定員: 30名

**受講料** 49,980円 ※昼食・資料付

※満席になり次第、

募集を終了させていただきます。

(税込) ※案内会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合1名につき47,250円

・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、計49,980円(2人目無料)です。

※大学生、教員のご参加は、1名につき受講料10,800円です。

(ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

**講師** 佐内 康之 氏 / 東亜合成(株) 名古屋工場 生産技術グループ

## 趣旨

UV硬化樹脂は、UV照射によりごく短時間でインキ、コーティング、接着剤等の各種用途に適した硬化物を得ることができ汎用性が高い材料である。一方、汎用性が高い材料であるがゆえに、理想的な硬化条件から外れた使われ方をすることも多く、実際の製造プロセスにおいて、さまざまな要因により所望の性能が得られないケースがある。本講演では、UV硬化樹脂の分類、代表的なトラブル事例とその対策について述べる。

## 本セミナーで得られる知識

- ・UV硬化材料・光源の選び方のポイント
- ・硬化阻害対策と実際の効果
- ・着色低減手法と実際の効果

## プログラム

### 1. UV硬化樹脂の種類と特徴

- 1-1 はじめに
- 1-2 ラジカル重合用モノマー・オリゴマー
- 1-3 カチオン重合用モノマー
- 1-4 ラジカル重合用開始剤
- 1-5 カチオン重合用開始剤
- 1-6 硬化用光源

### 2-2 着色や濁り

- 2-2-1 着色や濁りの原因
- 2-2-2 モノマー・オリゴマーの影響
- 2-2-3 光開始剤による影響
- 2-2-4 重合禁止剤・酸化防止剤による影響
- 2-2-5 その他の添加剤の影響
- 2-2-6 UV光源・硬化プロセス・使用条件の影響

### 2. トラブル事例と対策

- 2-1 硬化不良
  - 2-1-1 表面硬化性を向上させるためには
  - 2-1-2 内部硬化性を向上させるためには
  - 2-1-3 表面硬化性と内部硬化性の両立
  - 2-1-4 光源の種類と硬化性
  - 2-1-5 カチオン重合の硬化不良対策

### 【質疑応答・名刺交換】

## 『UV硬化樹脂設計の基礎と硬化不良対策【大阪講座】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属	E-Mail	
①			
②			
案内会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。			
<input type="checkbox"/> Eメール <input type="checkbox"/> 郵送			

※左記ご記入の上、**FAX 03-3261-0238**までお申込みください。

### ■お申込み方法

左記必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。お申込み後の連絡、受講証の発送、請求業務などは(株)R&D支援センターが行います。折り返し、R&D支援センターから受講証(当日ご持参下さい)、請求書、会場地図をご本人様宛てにお送り致します。お申込み後、5日以内にお手元に届かない場合は必ずR&D支援センター(TEL:03-5857-4811)へご一報下さい。

### ■お支払

請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いいたします。

### ■個人情報の取り扱い

ご記入の個人情報は、当社および主催者が、事務連絡、ご案内等に使用いたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。